科目ナンバリング	U-LAS23 20002 SO48						
授業科目名 <英訳>	中国語IIＢ [文法・文化理解] C252 Intermediate Chinese B [Grammar, Cross-cultural understanding]			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　松江　崇		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	月4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業は中国語の文法項目の習得並びに中国における言語・文化の地域差についての理解を中心とする。現代中国語で書かれた中国の言語・文化の地域差に関わる対話文・解説文を読解することにより、初級中国語で学んだ語彙・文法・発音についての基礎知識を確認しつつ、中国語による表現のために不可欠な文法事項を習得することを目的とする。併せて、中国における言語・文化の地域差に関する基礎知識を身につけることをも意図している。

[到達目標]

中国語で自分の主張・見解を表現するために必要不可欠な文法事項を習得し、受講者自身の主張・見解を中国語で表現できるようになる。また中国における言語・文化の地域差に関する基礎的な事項を理解し、中国の言語・文化についての理解を深める。

[授業計画と内容]

この授業はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。
中国語の歴史に関わる対話文・解説文を内容とする教員が作成したテキスト（原則としてピンイン付き）に基づき、受講者が毎回決められた範囲について予習を行い、授業中に日本語訳を発表するかたちで授業を進める（担当箇所の音読も求められる）。教員は、テキストにみえる文法事項（常用語彙項目も含む）についての詳しい解説を行うと同時に、それらを実際に用いた中国語表現の具体例を紹介していく。受講者は、課題として、学習した文法事項を用いた作文を提出することも求められる。さらに、授業ではテキストの内容に関する補足説明（原文の言語表現の特徴や古代の漢字音についての説明を含む）をも行っていく。具体的な授業計画は以下のようである。

第1回：中国語の文法体系概説
第2回：古代中国語の来源（1）
第3回：古代中国語の来源（2）
第4回：色彩文化（1）
第5回：色彩文化（2）
第6回：時計と時間概念（1）
第7回：時計と時間概念（2）
第8回：清談と薬（1）
第9回：清談と薬（2）
第10回：服装の文化史（1）
第11回：服装の文化史（2）
第12回：清末民初における日本漢字語の輸入（1）
第13回：清末民初における日本漢字語の輸入（2）
第14回：清末民初における日本漢字語の輸入（3）
《期末試験》
第15回：フィードバック

中国語IIＢ [文法・文化理解] C252(2)へ続く↓↓↓

中国語IIB　[文法・文化理解] C252(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

原則として期末試験70点、平常点30点で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。平常点については、出席状況および予習状況の評価・提出課題の評価に基づく。期末試験は、主としてテキストの日本語訳の正確性および文法事項（語彙項目を含む）の理解、中国の言語・文化の地域差についての理解を問うものとする。

[教科書]

プリント（教員の作成したテキスト）を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

必ず毎回決められた範囲を予習（日本語訳作成・発音練習）して出席すること。指定された課題を期日内に提出すること。

[その他（オフィスアワー等）]

毎回の授業に必ず中日辞典を携帯すること。
教員への連絡は、原則としてメールにしてください。